

KADOKAWA

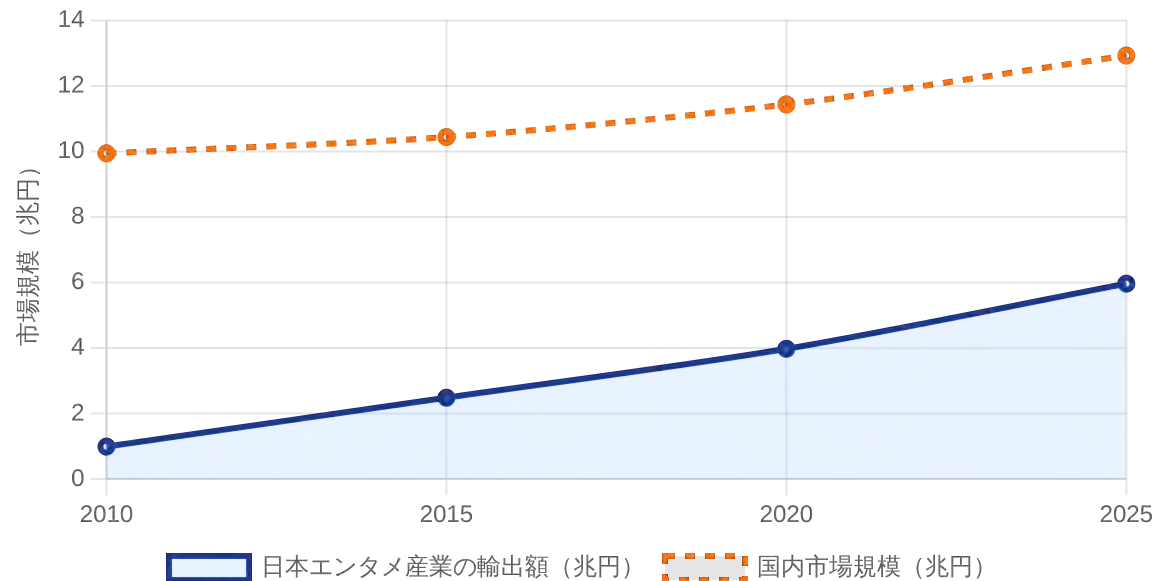
KADOKAWAに学ぶIPビジネスの価値最大 化戦略

メディアミックスとグローバル展開の全貌

はじめに：日本のエンタメ産業の成長とIPビジネスの重要性

日本のエンタメ産業の急成長

- 過去15年で**56倍**の成長
- 自動車に次ぐ**第2位の輸出財**に
- 国内市場：約**13兆円**
- 海外市場：約**5兆円**（急速に拡大中）



IPビジネスとメディアミックス

IPビジネスとは、**知的財産 (Intellectual Property)** を活用して様々なメディアやプロダクトで価値を最大化するビジネスモデル

メディアミックス：1つのIPを複数のメディア（出版、アニメ、ゲーム、グッズなど）で展開し、相乗効果を生み出す戦略



KADOKAWAの事業概要：出版から多角化へ

KADOKAWA

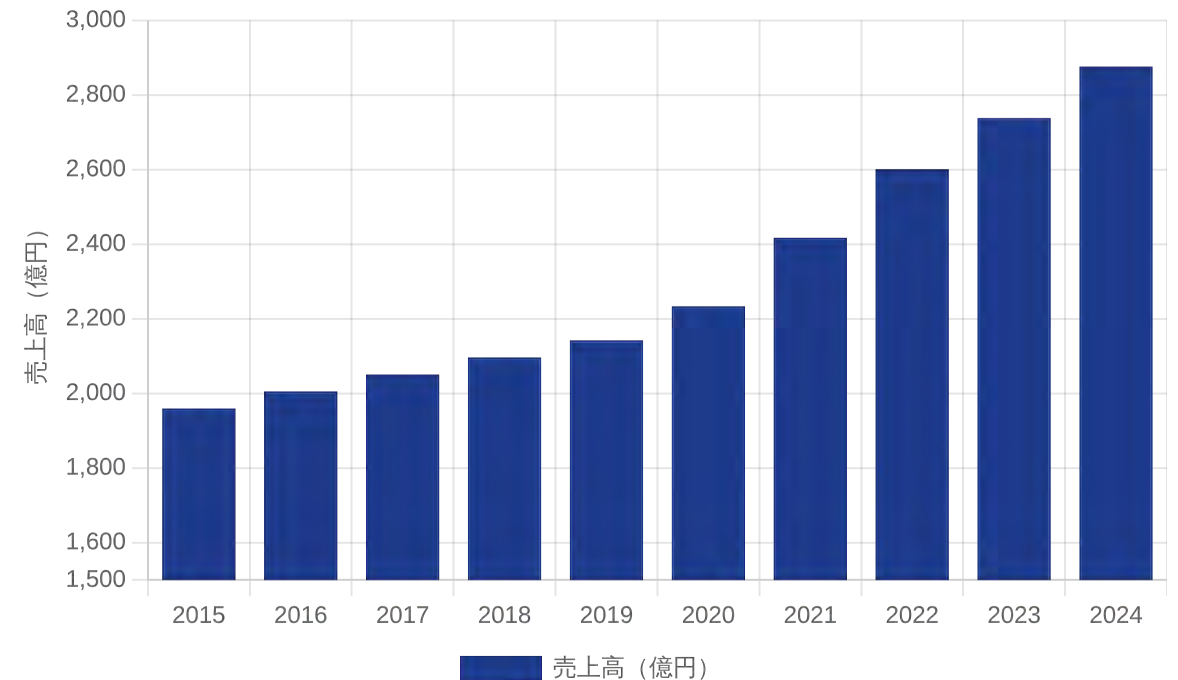
多角的な事業展開



「**ごった煮**」的な多様性を持つ企業文化

- 出版社の枠を超えた総合エンタメ企業
- 7つのアニメスタジオを内包
- 世界的ゲームスタジオ（フロムソフトウェア、スパイクチュンソフト）
- 所沢サクラタウンなど物理的拠点も展開

KADOKAWAの成長と変遷



KADOKAWAのIP戦略の特徴

- 出版を**IPの起点**として重視
- 日本で最初に**メディアミックス**を始めた先駆者
- 1970年代：実写映画と出版
- 1990年代：ゲーム・テレビとの連携
- 2000年代以降：アニメ・ゲームの本格展開

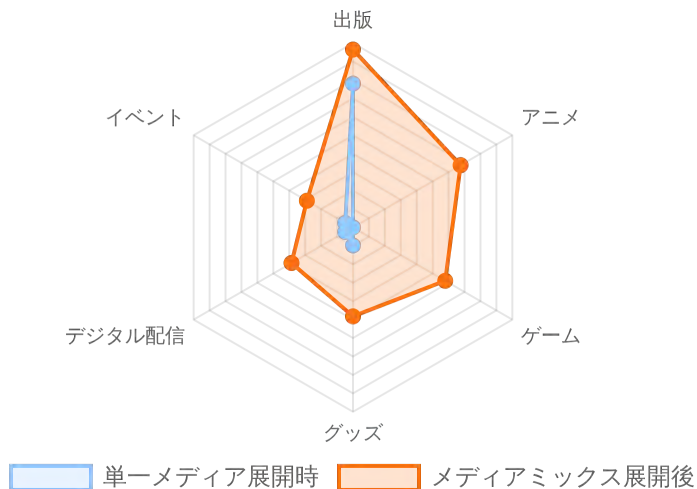
IP価値最大化戦略：メディアミックスの極意

メディアミックスの概念



KADOKAWAのメディアミックス戦略

- **出版**を起点としたIP展開
- **ミニマムな原価**でのトライ＆エラー
- 成功したIPへの**大規模投資**
- 複数メディアでの**同時展開**
- 「読んでから見るか、見てから読むか」の**多様な入口**



成功事例：Re:ゼロから始める異世界生活



メディアミックス展開の流れ

1. ライトノベル（富士見ファンタジア文庫）からスタート
2. アニメ化（2016年）で大ヒット
 - クランチロールなどの配信サービスで海外展開
 - 北米・アジアでの人気獲得
3. 漫画、ゲーム、グッズ展開へ
4. 継続的なシリーズ展開（第4期まで決定）

グローバル展開の現状と展望

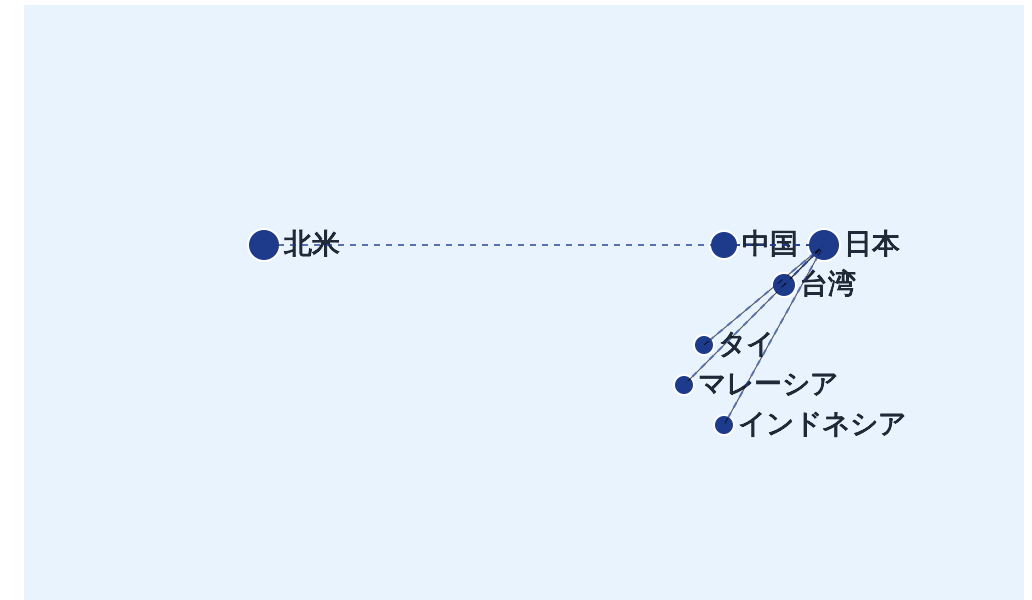
グローバルライツ局の役割と機能

- **ライツの集約**：アニメ・原作・商品化権など、全てのライツを一元管理
- **メディアミックス調整**：社内外のメディアミックスを調整するエージェント機能
- **海外展開**：翻訳出版権や配信権の海外展開を推進
- **IP価値最大化**：原作とアニメのライツを並行運用し、価値を最大化

海外発IPの創出

2028年3月期までに**IP資産7000点**を目標

- 海外子会社による現地クリエイターとの協業
- マレーシア発「どっちが強いシリーズ」など海外IPの輸入も
- タイではBL（ボーイズラブ）コンテンツの開発
- 将来的には海外発の異世界ファンタジーや少年漫画も



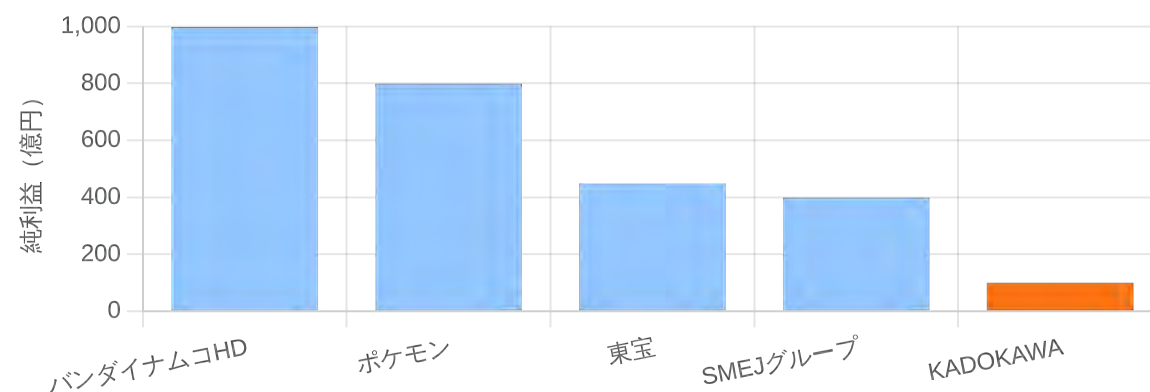
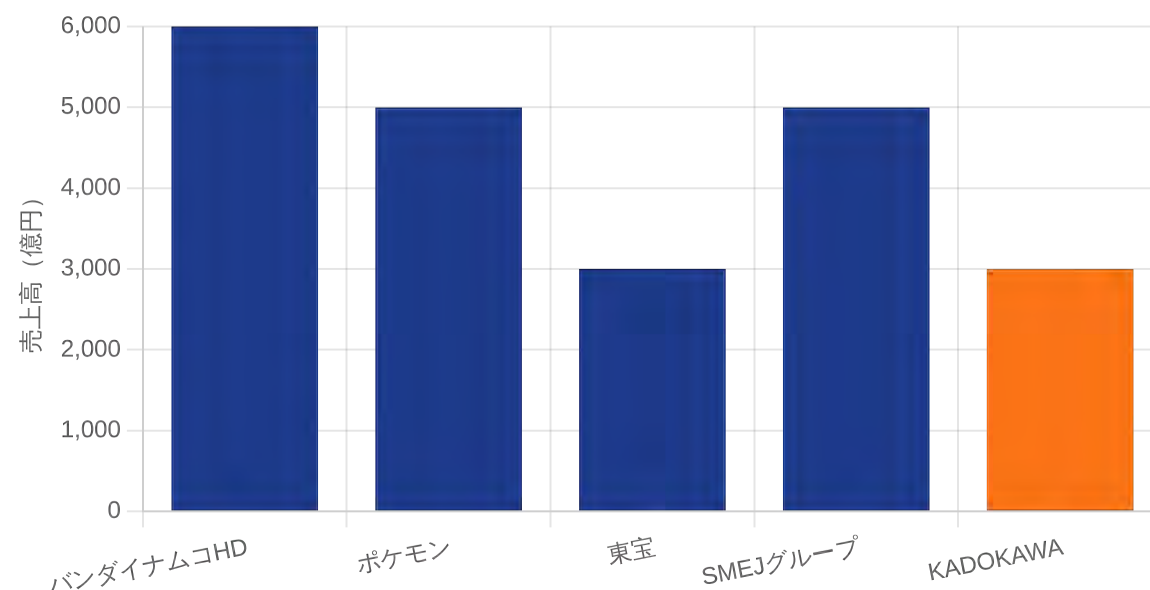
「パンどろぼう」の海外展開

- 国内で**320万部**を突破した人気絵本シリーズ
- 子供から大人まで幅広い層に支持される高品質コンテンツ
- アジア市場を中心に海外展開を計画中
- グッズ展開も含めた総合的なIP戦略を推進

競合との比較とKADOKAWAの強み

KADOKAWA

エンタメ四皇+KADOKAWAの比較



KADOKAWAの強み

出版を起点としたIPビジネス：小説・漫画からアニメ・ゲームへの展開力

メディアミックスの先駆者：50年以上の歴史と蓄積されたノウハウ

多様なIP資産：「Re:ゼロ」「オーバーロード」「ストレイドッグス」など多数のヒット作

垂直統合型の事業構造：企画・制作・流通・販売までの一貫体制

グローバル展開力：台湾、中国、北米、東南アジアなど世界各地に拠点

まとめ：KADOKAWAのIP戦略が示す未来

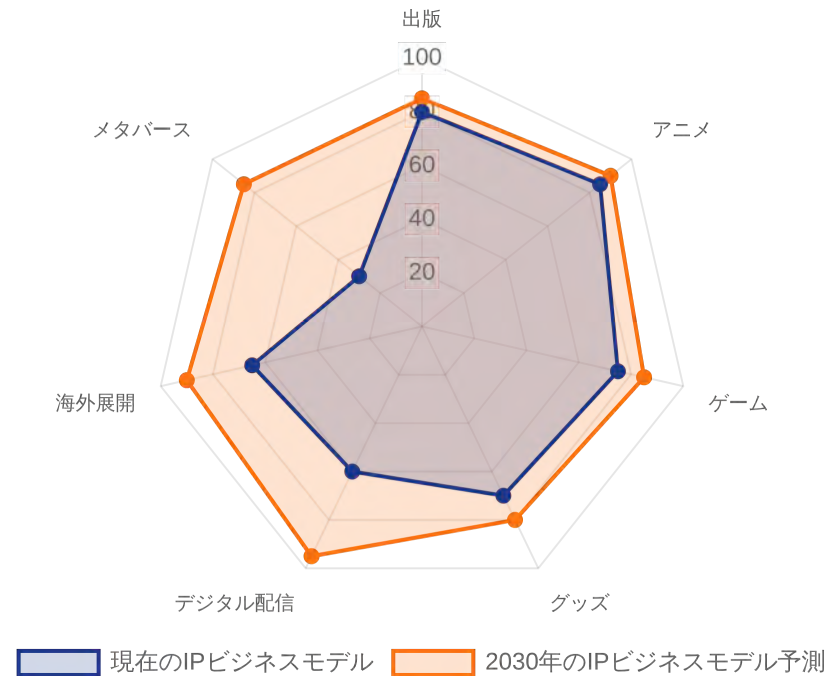
KADOKAWAのIP戦略の成功ポイント

- ✓ **IPの多角的な展開**：出版を起点に様々なメディアへ展開
- ✓ **トライ＆エラーの文化**：小規模投資から始め、成功したIPに大規模投資
- ✓ **グローバル視点**：海外拠点の拡充と現地化戦略
- ✓ **組織改革**：グローバルライツ局によるライツ一元管理

今後の展望

- 2028年までにIP資産**7000点**へ拡大
- 海外発IPの創出・育成の強化
- デジタル連携による新たな価値創造
- 多様なクリエイターとの協業拡大

IPビジネスの未来モデル

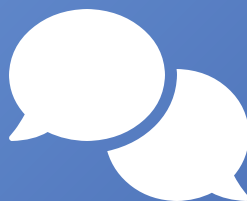


日本発IPの世界展開への貢献

- 国境を越えたIP流通の**ハブ機能**の強化
- 日本的スピリットと**グローバル視点**の融合
- 多様な文化背景を持つクリエイターの育成
- デジタル技術を活用した新たな**体験価値**の創出

ご清聴ありがとうございました

ご質問がございましたら、お気軽にお尋ねください



質疑応答